土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一般国道375号外道路災害防除工事に伴う測量・地質調査・設計業務委託(単独)

事業名 または 工事名 主要地方道庄原作木線石原地区地質調査

調査目的及び調査対象 道路 地すべり・斜面崩壊

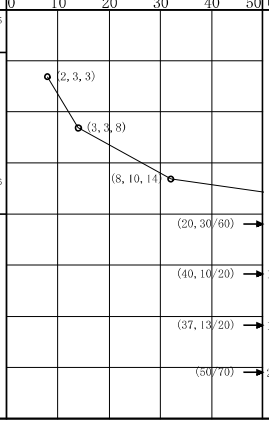
ボーリング名	15-No.1	**調査位置**	広島県三次市君田町石原地内(No.9+19.6R11.0m)			**北緯**	34° 53′ 12.4″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2021年 3月 15日 ～ 2021年 3月 16日	**東経**	132° 49′ 17.2″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +323.75m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°
総削孔長	7.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦DO-DRxS0型		
				エンジン	ヤンマーNFD10型	**ポンプ**	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	323.10	0.65		礫		淡青灰				比較的新鮮で硬質である。
1	322.65	1.10		礫		淡黄灰				φ30mm以下の砕石の裏グリ石である。
2	321.40	2.35		泥岩		暗褐灰				シルト状（一部で固結シルト状）の強風化土である。 極めて不均質な風化状況である。
3	319.75	4.00		泥岩		暗灰～暗褐灰				固結シルト状（一部で岩片状）の風化土であるが、最下部は逸水する。 コアは軽打でバラバラになるが、部分的に硬質な所が岩片状である。 一部で暗褐灰色を呈する。
4 5 6 7	316.75	7.00		泥岩		暗灰～暗褐灰				岩片状～固結シルト状コアの軟岩Iである。 比較的均質な風化状況であるが、固結シルト状の所が比較的少ない。 一部で暗褐灰色を呈する。

孔内水位／測定月日: 03/15 0.84; 03/16 4.00

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	2	3	3	8/300		
	1.45						
14	2.15	3	3	8	14/300		
	2.45						
32	3.15	8	10	14	32/300		
	3.45						
94	4.10	20	30/60		50/160	160	
	4.26						
125	5.10	40	10/20		50/120	120	
	5.22						
125	6.10	37	13/20		50/120	120	
	6.22						
214	7.05	50/70			50/70	70	
	7.12						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
	孔内傾斜計	

室内試験: 設置・観測 (7.00)

原位置試験: (0.00)

削孔月日: 3/15, 3/16